

Multi LABELIST V5 シリーズ バージョンアップ内容 Ver.5.9.8.0

2021年12月28日
株式会社サトー

バージョンアップ内容

Windows 11対応、新カラープリンタ対応、SCeaTaへのGS1QRコード対応、ネットワーク監視発行時のライセンス認証エラー対策、その他不具合修正を行い、Ver.5.9.8.0としてリリースします。

No.	内容	
①	新機能	Windows 11に対応しました。
②	新機能	カラープリンタ EPSON CW-C6000シリーズ、CW-C6500シリーズ、フェニックスPX509 α に対応しました。
③	新機能	「SCeaTa(シータ)CT4-LX」、「L'esprit(レスプリ) HC4-LX」の対応シンボルに「GS1QRコード」を追加しました。
④	仕様変更	シンボル変数の対応記号についてGS1の仕様に合わせて「>」を使用可、「半角スペース、#、\$、@、[、¥、]、^」を使用不可に変更しました。
⑤	一覧	対応内容一覧

① Windows 11に対応しました。

製品	MLV5(Enterprise/Plus/Standard/Lite)、MLComponent、MLComponent Plus、MLV5 WebEngine(WebComponent/PreviewComponent)
機能	全アプリケーション

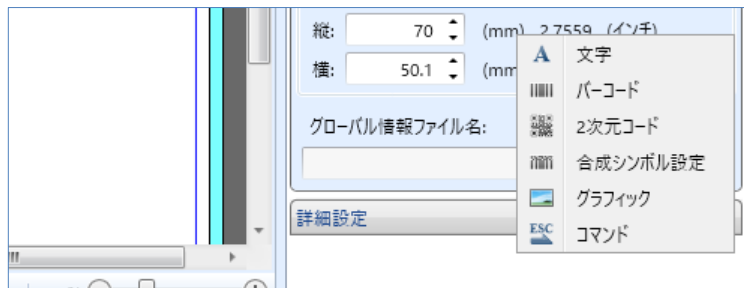
対応OSとしてWindows 11に対応しました。

レイアウト作成や各発行機能において問題なく運用いただけますが、一部の表示に関して制限事項があります。

- ・インストーラーの画面でボタンにマウスオーバーした際にボタンが黒く表示されます。（動作には影響ありません。）



- ・変数をデザイン上にドラッグしShiftキーを押しながらドロップした際に表示されるオブジェクト一覧が大きくなります。（オブジェクトを選択するとドロップしたポイントに表示されます。）



②カラープリンタ EPSON CW-C6000シリーズ、CW-C6500シリーズ、 フェニックスPX509 αに対応しました。

新機能

製品	MLV5(Enterprise/Plus)、MLComponent Plus、MLV5 WebEngine (WebComponent/PreviewComponent)※要オプション
機能	全アプリケーション

エプソン「CW-C6000シリーズ」、「CW-C6500シリーズ」に対応しました。

日本モデルの「CW-C6020」「CW-C6520」は既に対応済みでしたが海外モデルに対応しました。



CW-C6020A



CW-C6520A

フェニックス PX509 αに対応しました。

③「SCeaTa(シータ)CT4-LX」、「L'esprit(レスプリ) HC4-LX」の対応シンボルに「GS1QRコード」を追加しました。

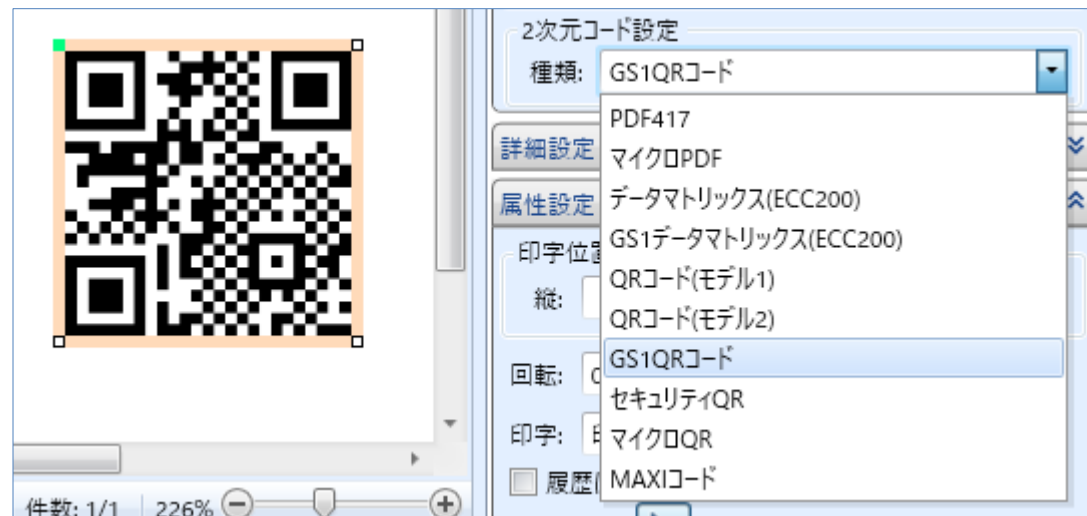
新機能

製品	MLV5(Enterprise/Plus/Standard/Lite)、MLComponent、MLComponent Plus、MLV5 WebEngine(WebComponent/PreviewComponent)
機能	全アプリケーション

「SCeaTa(シータ)CT4-LX」、「L'esprit(レスプリ) HC4-LX」の対応シンボルに「GS1QRコード」を追加しました。

プリンタファームウェアが対応していないと印字されません。

プリンタファームウェア バージョン6.4.0-r3 以降をご使用ください。



④ シンボル変数の対応記号についてGS1の仕様に合わせて「>」を使用可、「半角スペース、#、\$、@、[、¥、]、^」を使用不可に変更しました。

仕様変更

製品	MLV5(Enterprise/Plus/Standard/Lite)、MLComponent、MLComponent Plus、MLV5 WebEngine(WebComponent/PreviewComponent)
機能	全アプリケーション

シンボル変数の対応記号についてGS1の仕様に合わせて「>」を使用可、「半角スペース、#、\$、@、[、¥、]、^」を使用不可に変更しました。

AIで規定する情報を表す際に使用できる文字の種類は、以下の通りに定められています。

- ・数字(0～9)
- ・アルファベット
- ・記号 (!、"、%、&、'、(、)、*、+、,、-、/、.、:、;、<、>、=、?、_)

これ以外の、言語依存のアルファベット（例：漢字・かな、キリル文字、アラビア文字など）の文字セットは使用できません。「@」や「スペース」などの記号も使用できません。

<注意>

AIのデータに、ASCII128の128個の記号や文字のすべてを使用できるというのは誤りです。

引用：GS1 AIを正しく実装するためのポイント（プリンター、スキャナーメーカー様向け）より

[AIを正しく実装するためのポイント | GS1 Japan 一般財団法人流通システム開発センター \(gs1jp.org\)](https://www.gs1jp.org/)

⑤対応内容一覧

MLV5シリーズ共通		
1	機能追加	Windows 11に対応しました。
2	機能追加	カラープリンタ EPSON CW-C6000シリーズ、CW-C6500シリーズ、フェニックスPX509 αに対応しました。
3	機能追加	「SCeaTa(シータ)CT4-LX」、「L'esprit(レスプリ) HC4-LX」の対応シンボルに「GS1QRコード」を追加しました。
4	仕様変更	シンボル変数の対応記号についてGS1の仕様に合わせて「>」を使用可、「半角スペース、#、\$、@、[、¥、]、^」を使用不可に変更しました。
MLV5本体のみ		
5	仕様変更	オブジェクトの印字設定が[印字あり]の場合は、[条件印字]のグローバルチェックテーブルファイルの有無を確認しない仕様に変更
6	仕様変更	Windows8以降の64ビットOSでMLウォッチからカラープリンタレイアウトの印刷を実行すると、印刷実行時にエラーが発生する件を対策
7	不具合	ネットワーク監視発行で不定期にライセンス認証エラーが発生する件を対策
8	不具合	MLWatchサービス停止中に設定ファイルをインポートするとインポートした内容が保存されない件を対策
9	不具合	明細行部に横スクロールバーが表示されている場合に先頭項目に入力できなくなる件を対策
10	不具合	ページを跨いだ検索を行った際にデータ量が多いとアプリケーションが強制終了する件がある件を対策
11	不具合	プリセット発行で複数レイアウトを指定した予約発行時に並び替えを行うと発行枚数が紐づいていない件を対策
MLComponent Plus、MLPreviewComponent、MLV5 WebEngine(Web Component)のみ		
12	不具合	マルチスレッドでカラープリンタに出力するとバーコード等各種シンボルがまれに正常に表示されない場合がある件を対策